

主催 公益財団法人がんの子どもを守る会宮城支部 講演会

長期療養の子どもたちに“生きる力”を

NPO法人「HOPE プロジェクト」理事長 桜井なおみ

* 桜井なおみさんは、2004年夏、37歳で乳がんが発覚。その後自らのがん体験や社会スキルを活かして小児がん・若年性がん患者の自然遊びの会（ポタニカルキッズクラブ）を始動。設立1年を契機にNPO法人化。自ら仕事を持つ傍ら、現在NPO法人HOPEプロジェクト理事長として、サバイバーシップの啓発・普及を目指して日々奔走中である。

○日 時 平成25年5月11日(土) ○参加無料
<13:30 ~ 15:30>

○場 所 東京エレクトロンホール宮城 401会議室
<仙台市青葉区国分町3丁目3番7号 電話022-225-8641>

<総合討論> コーディネーター 樋口 明子
公益財団法人がんの子どもを守る会ソーシャルワーカー

発言者

東北大学	小児科医師	力石	健
体験者	筑波大学大学院生	堀江	久樹
体験者	多賀城市 主婦	佐藤	純子
母親の立場	石巻市 主婦	小野	自子

問合せ・連絡先
公益財団法人がんの子どもを守る会宮城支部
<事務局> 佐藤 陽子
電話：090-7568-3724
メール：yaris3520@hotmail.co.jp